

函館白百合学園中学高等学校
発行者：高橋 真理子
発行日：令和2年
12月14日（月）

ようこそ まりこの部屋へ

Junior
High
School

従順：勤勉：愛徳

笑顔いっぱい毎日

「がんばる、白百合生」



11月25日、本校のクリスマスツリーが点灯され、周囲を明るく照らしています。

今年のツリーはいつも以上に美しく輝いています。中でもてっぺんの大きな星はひときわ輝きを放ち、希望の灯りとなっています。

今年もいろいろな場面で白百合生の活躍が見られました。

笑顔いっぱいの楽しい毎日を送ることができました。

学習活動、行事、部活動、どの場面においても白百合生はがんばり輝いていました。紙面を通して白百合生の日常をご覧ください。

来たる新年がみなさんにとって輝かしい1年となりますようにお祈りしています。
よいクリスマスを、よいお年をお迎えください。

掲示板

第2号からは
函館白百合学園の
HPに掲載します。

学園祭も体育祭も中止になってしまったけれど…

大好評！！文化・体育行事 10月23日(金)

ミニバレーボール大会・校内ウォークラリー・動画上映会

みなさんの笑顔がはじけた一日！

「楽しかった？」「楽しかったーッ！」

満面のはじける笑顔で、ほとんどの生徒たちが返してくれました。

当日はあいにくの雨でしたが、早朝からケータリングの車が待機して準備に取り掛かり、係の先生や事務の方々が必死に雨がつかないようにと雨よけを設置するなど、裏の见えないところで様々な方が尽力をしてくださる中での文化・体育行事の開催でした。

午前中のミニバレーボール大会が白熱するのは予想していましたが、校内ウォークラリー大会にあればと真剣に皆が取り組んでくれるとは、想定外でした。小さな折り紙で鶴を折るという課題、ルーレットで当てた課題、たとえば校歌の2番を歌いなさいという課題、「お嬢さん、お絵かきですよ」で例えば「マスール」のお題が出るといった課題、下手をしたら「グループで腹筋30回」という、運動が苦手なウォークラリーを選んだ生徒には過酷な課題もありました。

午後は、動画上映会でした。部活動紹介や、先生方が出演するCMや、有志の生徒たちによる美しいデュエット、吹奏楽や、音楽部・ストリングス部の素敵な演奏など、盛りだくさんで、三密を避ける中、大声を出すことはできませんでしたが、盛大に拍手をしてくれるなど、皆で大いに楽しめた時間になったようです。最後は、サプライズでPTAの皆様よりお菓子のプレゼントがあり、楽しい一日の締めくくりとなりました。

←◎PTAの皆様よりお菓子のプレゼントです。



ポークカレー 430円
チーズカレー 520円
ソーセージカレー 550円
ハリケーンポテト 200円

CLUB HOUSE
CoCo壱番屋

50%OFF
TETSUMARU CATERING

チーズハットグとチェゴシラは
白百合学園の特別サイズにし、
お手頃価格で販売します！

チーズハットグ 400円
チェゴシラ 450円
たこやき 450円
いちごスモージー M400円
いちごスモージー L500円

函館白百合学園中学高等学校
文化・体育的行事
移動販売車メニュー

予約方法 各担当教員の広場に希望人数を記入
予約書・代金お引き換えに各店舗へお取
その他 希望販売車があります。なるべく予約してください
希望を越える予約があった場合は抽選になります
お間違いのないよう、必ずお申し込みください

元祖パスタラーメン
塩ラーメン(ハーフ) 500円

クレープ
チョコバナナ生クリーム 450円
生クリーム+ソース 400円
ソース：チョコ、キャラメル、メープル、抹茶、
ブルーベリー、ストロベリー、マンゴ

中学校の取り組みをご紹介します。(7月の学校長通信より)

学年ごとにバラエティ豊かです。



中学1年生 和太鼓！

中学1年 A 組は、総合的な学習の時間に、技術科の小山先生を講師としてお招きし、和太鼓に取り組んでいます。7月の学園祭で発表する予定であった「ぶち合わせ太鼓」という曲を練習中です。



学園祭が延期となってしまいましたが、どこかで成果を発表する場を設けたいと考えております。担任も含め、強弱やリズムを取ることに苦戦しておりますが、少しずつ一体感が生まれ、良いものになってきております。本番で明るく、笑顔で、元気よく発表できるよう、これからも小山先生と担任を含む25名で力を合わせ、一生懸命練習をしていきたいと思っております。どうぞご期待ください。(中1A 担任)



中学2年生 職業調べ&サツマイモ栽培の開始！

現在、中学2年生は、総合的な学習の時間を使って、「職業調べ」のプレゼンテーション内容を深めています。「職業調べ」のプレゼンテーションは、本来、中学1年次の3月18日に行われる予定でしたが、新型コロナ・ウィルス感染症拡大の影響で延期となっていました。

パワーポイントでの発表にむけてよりよいスライドとは何かを考え、原稿を練り直し、伝わりやすい内容を求め一生懸命、作成しています。



職業調べで調べている内容は各自の興味があるお仕事です。「助産師」「プロ野球審判員」「フライトナース」「メイクアップアーティスト」など…夢はそれぞれに広がっています。

より分かりやすくプレゼンテーションをおこなうためには「何が分かりにくいことか」が理解できている必要があります。伝えたいことを、適切に伝えるために、中学2年生は各自工夫してPCと格闘中です。

また、技術家庭科の授業では、サツマイモの育成をおこなっています。先日は楽しくみんなで畑に植える作業を終えました。全員でおいしく食べる日を心待ちにしています。しばらくは太陽と雨のバランスに期待するのみです。(中2A 担任)



中学3年生 「白百合生15歳の姿」を考えました！

中3は、姉妹校も含め白百合学園に共通してある「白百合生18歳の姿」という教訓を元に、その目標に向かう半ばの中学卒業時に自分がどうあるべきかを想像しながら「白百合生15歳の姿」を考えました。

まずは一人一人考え、その後5人1班で話し合いをして候補を絞り、最後はClassiのアンケート機能をつかって投票を行いました。中学に入学したばかりの生徒でも理解できるようわかりやすい言葉を使うことを目標にしました。生徒自身がつくった目標ですので、来年の3月に自分がその姿に近づくよう、日々努力していったほしいと願っています。

また、中学3年生は、後輩に向けてアドバイス集を作成し、中1、中2にプレゼントしました。今はすっかり白百合学園での生活に慣れ、学習や部活、学校行事に積極的に取り組んでいる中3生ですが、入学したころを振り返ると、小学校とは違うことばかりの中学校生活に戸惑い、悩んだこともたくさんありました。この2年間の自分の試行錯誤を思い出しながら、学習編では、予習、復習のコツ、ノートの取り方、定期テストへの取り組み方などについて、学校生活編では、行事を成功させるために必要なことや、友人や先輩と

この2年間の私たちの試行錯誤から生まれた

中3からのアドバイス！

学習編 & 生活編



白百合学園中学校 令和3年度 梅雨3年 必修25名

仲良くなるコツ、悩みの解消法などについてアドバイスを書きました。このアドバイスが後輩のみなさんの助けとなることを願っています。(中3A 担任)

白百合生 15歳の姿 (令和2年度 函館白百合学園中学3年A組作)

I かけがえのない生命を生きる人間

- (1) 困難な状況にあってもくじけず、目標達成に向かって努力し続けます。
- (2) 互いの良いところ、悪いところを認め、人の幸せを喜び合います。
- (3) 全ての人々が平等だと理解し、誰かのために祈ります。

II 日常の何気ない幸せに気づける人間

- (1) 周りに流されことなく善悪の区別ができます。
- (2) 目標を持ち、努力、挑戦しようとします。
- (3) 他人を大切にし、感謝や思いやりを言葉や行動で表すことができます。

III 広い視野を持ち、周りに目を向ける人間

- (1) お互いを尊重し、人の幸せのために役立てよう努力します。
- (2) 自国、他国の文化を理解し、大切にしようとします。
- (3) 自然を大切にし、環境にやさしい行動を心がけています。



10月より、学校行事が再開されていきました。

中1 社会科見学 ・ 中2 林間学校

10月に入り、新型コロナウイルス感染症対策のため延期されていた行事が、徐々にできる範囲で、あるいは形を変えて再開されていきました。10月6日(火)に、中学2年生が林間学校を、高校1年生が校外研修を宿泊を伴わない形で、10月8日(木)に中学1年生が社会科見学を実施しました。

10/6(火)

■中2林間学校 ……函館市縄文文化交流センター訪問、大沼ボート・オリエンテーリングなど

10/8(木)

■中1社会科見学 ……港湾事務所の方によるご講演、函館港湾クルーズ



函館白百合学園中学校では、社会について考える場が数多くあります。

中2・中3 恒例 プレゼンテーション

◎ 中2 日本語プレゼンテーション 今年のテーマは「サステイナブル」

中学2年生は「サステイナブル」を大きなテーマに据えて、総合的な学習の時間を探究活動にあててきました。サステイナブルとは持続可能性を意味する言葉で、これからの未来においても、続いていけるかどうか、続いていかせるためには私たちはどうしたらよいか、という意味でもあります。

18人を6班に分け、それぞれのチームで興味・関心を寄せ合い、「蚊」「アイヌ」「魚」「衣服」「スターバックスコーヒー」「エシカルキッチン」などの関連テーマ



を決めることからスタートしました。それらが未来においても持続が可能かどうか、どうすれば持続が可能か、調べ活動をすすめました。

班によっては、アンケートを実施したり、自分たちで実際に作ってみたり、現場に足を運んだり、企業や研究所に電話取材をしたりするなど、インターネット上だけでは知り得ない部分も深く調査することができたようです。

発表当日は、パワーポイントを使い、皆、堂々とプレゼンテーションをしてくれました。来年度は英語でのプレゼンテーションになるかと思いますが、多くの生徒が既に意欲的な姿勢を見せています。それぞれの成長につながった「日本語プレゼンテーション」の活動となりました。(中2A担任)

中3 英語プレゼンテーション



今年のテーマは

「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)」



中3は現在世界で最大の問題となっている「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)」について取り上げ英語でプレゼンテーションを行いました。テーマ決定の際には、日々状況が変わる時事問題をプレゼンのテーマに選ぶのは難しいのではないかという議論にもなりましたが、今自分たちが一番考えるべき問題だという結論に至りました。今回は5つの班に分かれ、それぞれの班で完結した10分程度のプレゼン

ンをリレー形式で行いました。

各班のテーマは以下の通りです。

- 1 班：感染者数の推移・コロナ禍における医療現場の状況や医療崩壊について
- 2 班：医療従事者への差別・コロナ禍での飲食店の経営問題とその対策について
- 3 班：新型コロナウイルス感染症に対する日本と諸外国の対応・ワクチンについて
- 4 班：感染症の歴史・血液型と新型コロナウイルス感染症の関係・検査方法について
- 5 班：コロナ禍での SNS の活用について

まず日本語の原稿をつくり、それを各自で翻訳していく作業をしました。日本語と英語の表現の違いや医療用語などの難しい英単語と格闘しながら、何度も書き直して原稿が出来上がりました。次に、内容をより分かりやすく伝えるために、日本語のキーワードも入れたパワーポイントのスライドを作成しました。最後に、聞いている方々に伝わるよう工夫しながら何度も発表練習を行いました。英語の発音が難しく、こちらもかなり時間がかかりましたが、最後にはほぼ原稿を見なくても発表ができるようになった生徒も多くいました。本番の日は多くの保護者の皆様と先生方の前で、緊張しながらも堂々と発表することができていました。本当によく頑張ったと思います。(中3A担任)

【生徒の感想】

今回のテーマは、情報の正確性が求められるものであったので、調べるところから緊張感を持って取り組みました。沢山の情報の中から必要なものを選び取っていく難しさも学べたと思います。発表では練習の大切さがわかりました。何回も音読を繰り返したり、人の前で話してみたりすることにより、より細かなところにまで気を配れるようになれました。今回の発表は1つのゴールではありませんでしたが、ここで終わってしまわないようこれからもこのような努力を続けていけるようにしたいです。



カトリック校だからこそその学びがあります。

「聖パウロ記念式」 1年間、この言葉と共に生活します。

各クラスで選んだ聖パウロの言葉

6月に行われる「聖パウロ記念式」では、毎年、各クラスで選んだ聖パウロの言葉が書かれた額を神父様に祝福していただき、校長先生からクラスの代表に手渡していただいていた。今年は、全校集会ができませんでしたので、各クラスの選んだ言葉を、校長先生が放送で読み上げてくださいました。各クラスで選んだ言葉をご紹介します。中学3年生は、担任の先生が願いを込めて言葉を選んでいきます。



中学1年A組



喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

(ローマの信徒への手紙12章15節)

(ローマの信徒への手紙 12章15節)

見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。

(コリントの信徒への手紙 4 章 18 節)

❁ ❁

4年前に英語劇で「星の王子様」を上演することとなり、台本を作っているときに改めて物語を読み返しました。このセリフはキツネが王子に贈った言葉です。「星の王子様」と言えばこのセリフと言うほど有名な言葉なので、みなさんも聞いたことがあると思います。

私たちはどうしても自分の目に映るものばかりに気を取られてしまいます。目に見える物の豊かさや溢れる情報、数値などの中にだけ幸せや真実があると思ってしまふものです。しかし、必ずしもそこに幸せや真実があるとは限りません。「心の目」を開いて物事の本質、本当に大切なことを見極めることが重要です。では、みなさんにとって「目に見えないもの」とは何でしょう。中学校生活も3年目となりました。これまでの生活の中で楽しかったこと、うれしかったこと、悲しかったこと、つらかったことなど多くの経験をし、みなさんは成長してきました。その1つ1つの経験も目には見えない大切なものですね。一もめることもあったかもしれませんが、本当に自分がつらね。それらはこの先もずっとみなさんの中に残り続けるでなく、見えないものに気付き、それを大切にできる人でいびました。



❁ ❁

“行って隣人とないなさい！”



11月13日（金）に修養会が行われました。「行って隣人となりなさい」をテーマに、白百合女子大学学長の高山貞美神父様をお迎えし、午前には3つの講話をしていただき、午後はミサの司式をしていただきました。

講話ではルカ 10 章の「善きサマリア人」のたとえ話を朗読され、神父様は「あなたは登場する祭司・レビ人・サマリア人のどれに該当するか」と問いかけられた後、NPO 法人豊島こども WAKUWAKU ネットワーク理事の栗林知絵子さんの体験やマザー・テレサや聖フランシスコ、

達を紹介ながら、「行って隣人となる」ことの意味を分かりやすくお話してくださいました。

●令和2年度 修養会●

＝午前部＝

第1講話

- ・聖歌紹介「私をお使いください」
- ・第2講話
- ・聖歌紹介「クレド」
- ・第3講話

＝午後の部＝

- ・追悼ミサ
- ・修養会のまとめ
- 「1年後の私へ」の手紙書き

講話の合間には午後のミサで用いられる聖歌が音楽部とストリングス部によって紹介され、聖歌を通してもテーマの理解を深めることができました。特に高校 3 年生は最後の修養会でもあり多くの気づきがありました。
(宗教科)



カトリック校ならではの！

白百合のクリスマスツリーが点灯しました！！



白百合学園の生徒玄関の前に、高さ15メートルにもなるヒマラヤスギがあります。毎年、この木が巨大なクリスマスツリーとしてクリスマスまで夜空を美しく彩ります。

例年ならば、吹奏楽の演奏で聖歌を歌いながら華々しくカウントダウンをして点灯するクリスマスツリーですが、今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で大掛かりな点灯式はできませんでしたが、生徒会や放送局を中心に、こじんまりとしてはいましたが、温かな雰囲気での点灯式となりました。

白百合学園のクリスマスツリーは、産業通りからも見えるので、前を通りかかった際は、ぜひご覧ください。



■点灯時間:16:00～21:00 12/25 まで点灯しています。

函館白百合学園の高校生の様子もお知らせします。



より良い進路を選ぼう！

白百合は学びの場がいっぱいです。



函館白百合高校には、LB（特別進学コース）、看護医療系進学コース、総合進学コースの3つのコースがあります。各コースで講演会や大学や専門学校訪問、インターンシップ、進路説明会といった、自分の進路を考える時間が多く取られています。この秋に実施された各コースの催しをご紹介します。



LB(特別進学)コース対象 2年L組 大学進学 進路講演会 11月11日(水)

「まだ高2」と甘えるなかれ！ 受験はもう始まっている！

LBコースで恒例の大学進学講演会が、2年L組を対象に、ベネッセコーポレーションより講師をお迎えして行われました。来年度入試から大きく変更になる大学入試。その現状と今後の対策、模試の結果の見方など、これから具体的にどうすべきなのかがよくわかるお話でした。

【生徒の感想】

●この講演で、受験勉強の期間が残り9か月しかないことがわかりました。とても受験が身近に感じました。また、合格者のデータや、自分の志望校の目標点数をすることができて良かったと思います。高3のスケジュールを見て、受験はあっという間に来るな、と思い早めに対策していこうと思いました。

模試の結果の見方を教えて下さったので、自分がどこでつまづいているのか、苦手分野なのか、しっかりと分析して、次につなげていきたいです。また、自分の志望校の目標点数がわかったので、その点数を超えられるように勉強していきます。スタディーサポートをもう一度復習しようと思いました。自分の志望校に合格できるように、頑張っていきます。

●「〇年生の〇月までに〇点とる」というような具体的な目標点数や、人間の集中力の話など、進路実現に向けて役立つことばかりでした。勉強の途中でスマホをいじったり違うことをしてしまったりする時があるから、それはやらないようにしようと思いました。自分の苦手を把握したり、努力している人についていったりして、志望校に合格したいです。

●模試の目標点や、入試の形式など、今まで詳しく理解できていないものを、わかりやすく説明してくださったので、1月の模試に向けてがんばろうという気持ちになりました。今までの模試や定期テストの問題を見直して、これからのテストに対応できるようにしたいです。



LB コースの目玉! 「LB 特講」 部活が終わってから講習が受けられます。

…部活動を引退した高3は、16:45~20:00 までぶち抜き時間で受験に向けて頑張っています。12 月からは、理科集中講習、冬期講習、共通テスト直前講習など目白押しで、最後の追い込みに入ります!



看護医療系進学コース 1年H組、2年H組対象 天使大学講演会 10月17日(土)

◎『看護師とは』

講師:天使大学
看護科 前田 朝子先生

看護医療系コースでは、医療系の専門学校、大学の講演会がよく開かれます。今回は天使大学の講演を聞いた生徒の感想をご紹介します。

【生徒の感想】

天使大学の(先生の)話を聞いて、看護師は精神(こころ)・知識(頭)・技術(手)のこの3つをもっていなければならない、技術は大学や専門学校でしか学べないが、高校を卒業するまでの基本的な勉強はとても大切なんだと思った。そして、人に対する温かい心も大切だと思った。私は最近、「本当に看護師になりたいのか?」と思って悩んでいた。けれど、今日の講演で「やはり看護師になりたい。医療系の仕事に就きたい」と思う心が大きくなった。なにをやるにしても、やはり自分の気持ちが一番大事で、どれだけ強い思いをもっているかが大切だと思った。

また看護大学では「看護技術」だけでなく、「看護理論」を学ぶことや、判断力、分析力を強化し、根拠ある実践ができ、人間性を高めることができる、という看護学校との違いを知ることができた。

前田先生のこれまでの人生の話を聞いて、看護師の資格を取ったから看護師の職に就くということではなく、いろいろな道があるのだなと思った。今私ができることは、意欲と熱意を忘れず、他者に関心を持つ、人の役に立ちたいという気持ち、そして温かい心を持つことだということがわかったので、このことを忘れずに高校生活を送っていききたいと思った。



看護医療系進学コースの目玉! 「医療実習」

…高1、高2に、五稜郭病院で医療実習を行っています。数々の講演や医療実習を経ているので、看護医療系コースの生徒たちは、進路を選ぶ時にミスマッチがありません。よくよく考えて進路を選べる環境です。



総合進学コース 3年A組、B組 出前講座 11月7日(土)

◎模擬選挙に参加して

高校3年生の総合講座の授業で、「選挙」についての出前講座がありました。現在は18歳から選挙権を持つようになったので、高校3年生にとってはとても現実味を帯びた内容だったようです。とても真剣に聴いたり参加していました。

【生徒の感想】

今回の選挙講座に参加して、選挙について興味が湧きました。特にそのように感じたことが二つあります。一つ目は、投票所入場券を紛失したり、当日持参することを忘れたりしても、本人確認ができれば投票できることです。二つ目は、期日前投票ができる期間が一週間程度あることです。二つのことを合わせて、出かけたついででも、投票できることを初めて知りました。他に、零票確認があることなど知らないことばかりで、とても興味深い講座内容でした。また、模擬選挙を行い、実際に投票するという体験もしました。模造された選挙公報を拝見して、投票しました。本番さながらの良い体験ができ、実際の選挙のときもスムーズに投票ができそうだと感じました。これらの経験から、私も投票権を得たら、必ず投票しに行きたいと思います。



総合進学コースの目玉! 隔週土曜日に、「WillB プログラム」と称して、インターンシップや各種講演、韓国語や生活実習など、様々なプログラムが用意されています。また普通科では珍しく簿記の授業を設定しています。

検定 ■第63回情報処理検定 ●ビジネス情報部門 第2級 3名合格!!

←就職時などに有利です。



コロナに負けない!

白百合生は部活動も頑張っています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、様々な拘束された中で活動をせざるを得ない部活動。でも、白百合の部活動は、その限られた中で精いっぱい行っています。

◎ 全道大会に出場して

■陸上部 水嶋 璃子さん(2B) 200M 北海道高等学校新人陸上競技大会(於: 室蘭市)9/22(火)~25(金)

9月23日から室蘭で行われた北海道高等学校新人大会に200Mで出場してきました。コロナウイルスの影響があったなか、感染症対策などをしながら開催してくださった関係者の方々にとっても感謝しています。

結果としては、自己ベストで走ることはできましたが、決勝に進むことができず悔しいものとなりました。今回の経験を活かし、来年の全道大会に向けて冬期練習に励んでいきます。



■テニス部 北海道高等学校秋季テニス大会(於: 帯広市)10/13(火)~16(金)



私は10月13日から16日に帯広市で行われた北海道高等学校秋季テニス大会にダブルスで出場して参りました。結果は初戦敗退でした。今回の大会に向けて、クロスラリーのコースの強化とポーチボレーで決めきることに重点を置いて練習してきましたが、練習してきたことが出せず、悔しい結果に終わりました。しかし、その分課題も多く見つかり、

いい意味で全道選手とのレベルの差を感じ、自分の視野を広げることができたと思います。その中でも、二つの大きな課題があります。まず一つ目は、打つ時のリズムを一定にすることです。なぜなら球の速さに関係なく同じ間で打てるということが、全道選手が私たちよりも安定したボールで戦える理由だと思ったからです。二つ目は、試合中にもっと自分をアピールすることです。たとえば、ある強豪高校の団体戦では、ポイントを取った時に「よっしゃカモンッ！」と声を上げてじぶんを鼓舞するだけでなく、チームに向かって手を振り上げて、ポイントを取ったことをアピールします。だからこそ勝ちに貪欲になりつつもチームの雰囲気がよく、自分のテニスができるのだと思いました。

このように、全道で体験したことや課題を、今回行けなかったメンバーと共有し、悔しい気持ちをバネにして、この経験を無駄にしないように、冬また一から頑張ろうと思います。

最後に、応援してくださった皆様、ありがとうございました！

○出場選手○

林 優芽(2L)
福中 美月(2L)
浅井 美咲(1B)
奥村 奈々(1A)



◎ 全道大会に出場決定！ おめでとう！ !女子団体 準優勝

■バドミントン部 第49回全国高校選抜大会函館支部予選会

兼第71回高体連函館支部新人バドミントン大会(於: 函館アリーナ)11/26(木)~28(土)

私たちは11月26日、27日、28日に行われた高体連函館支部新人バドミントン大会に出場してきました。昨年は4位で全道大会に出場し、一回戦で敗退となりました。今年は「2位になって全道に行く」というのを目標に、夏には、学校の周りをタイムを計って走ったり、基本的なノック練習をほぼ毎日しました。私たちは所属コースによって、授業の終了時間が違う日があるので、7時間授業の日は約1時間しか練習できません。その短い時間の中でも、自分が試合をしていない時は、自主的にサーブ練習や壁打ち、節トレ、体幹トレーニング、ギャラリを走るなどをして時間を有効に活用していました。

そして、目標であった2位となり、小樽で行われる全道大会に出場します。今回は個人戦で出場する選手もいます。冬休みに入ると冬期講習があって、部活と勉強の両立が大変ですが、一回でも勝つことができるように、一日一日の練習時間を大切にして頑張りたいと思います。

○団体戦メンバー○

主将 金敷 真依(2L)
副主将 鈴木 葉月(2A)
中野 碧衣(2A)・増田 夢(2L)
宮崎 華帆(2L)・石田 光(2H)
岡田 里珠(2H)・高橋 遥奈(1H)
綿 春奈(2H)



吹奏楽団 コロナ禍の活動について

- 苦しい時だからこそ、今の頑張りが必ず未来につながる！ -

応援して下さる方々に感謝！

一回一回の本番を大切にして、皆さんに感動を届けたい！！

今年は新型コロナウイルスの影響により、コンクールやさまざまな演奏会が中止となり、6月に予定されていた定期演奏会も延期になってしまい、気持ちが沈んだ時期もありました。しかし、色々な方々のおかげで7月にはライブ配信を行うことが出来、9月には高文連に出場することができました。

現在では、1月に行われるソロコンクールやアンサンブルコンクール、道南地区吹奏楽コンテストに向けて、そして3月に延期された定期演奏会に向けて日々練習に励んでいます。このような状況の中、徐々に演奏できる機会が増えていっていることを嬉しく思っています。いつも応援してくださっているたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずに、一回一回の本番を大切にして、感動を届けられる演奏ができるよう精一杯頑張っています。

